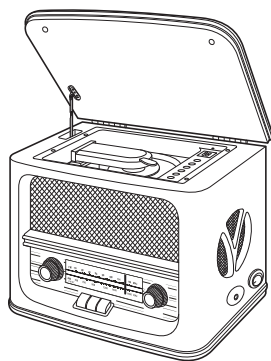


# クラシック CD ラジオ

YCD-510

取扱説明書



## ご使用になる前に

この取扱説明書（保証書付）を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

この度は、本製品をお買上げ頂き誠にありがとうございました。

この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。

お読みになった後は、わからないことや不具合が生じた時にお役立てください。

日本国内専用 FOR USE IN JAPAN ONLY

本製品は家庭用として作られており、業務用には使用出来ません。室内での使用に限ります。

## 商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分

（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ

E-mail: support@qriom.com

ホームページ: http://www.qriom.com

## 目次

安全上のご注意	2
本機の特長	6
梱包品	6
各部の名前	7
基本的な使い方	9
電源を入れる	9
音量を調整する	9
機能を切り替える	9
CD取扱上のご注意	10
CDを初めて使う前に	11
CDの聞き方	12
CDを再生する前の準備	12
CDを再生する	12
CDを繰り返し再生する	14
CDの再生順を設定する（プログラム再生）	14
CDプレーヤの天板を閉める	16
ラジオの聞き方	17
アンテナを調整する	17
AUX（外部入力）端子の使い方	18
お手入れ	18
本体のお手入れ	18
電源プラグのお手入れ	18
故障かな?と思ったら	19
仕様	20
保証とアフターサービス	21
保証について	21
アフターサービスについて	21
保証書	24

# ● 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」を良くお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

## ● 【記号の意味】

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 <b>注意</b>	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---------------------------------	---	--------------------------------

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

 <b>禁止</b>	 <b>分解禁止</b>	 <b>ぬれ手禁止</b>	 <b>接触禁止</b>	 <b>水ぬれ禁止</b>	 <b>指示を守る</b>
 <b>プラグを抜く</b>	 <b>ケガに注意</b>				

## ⚠ 警告



発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。  
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。



分解・修理・改造はしない

分解禁止

感電・火災の原因となります。  
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない  
野外で使用していて、雷が鳴り出したら、アンテナをまとめて安全な場所に避難する

禁止

感電の原因となります。

# 警告



プラグを  
抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



つぎのこと  
を守る

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

- ・傷つけない
- ・延長するなど加工しない
- ・加熱しない・引っ張らない
- ・重い物を載せない・はさんだりしない
- ・無理に曲げない・ねじらない
- ・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。  
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



プラグを  
抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。



ほこりを  
とる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



ゆびのケガ  
に注意

天板の開閉時に、天板やストッパーに指を挟まないように注意する

故障やけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

次のような場所には置かない

- ・風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- ・雨、きりなどが直接入り込むような場所
- ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・炎天下の車内・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
- ・振動の強い場所
- ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
- ・極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
- ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。

## ⚠ 注意



禁止

### 円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



禁止

### ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



禁止

### ディスクのピックアップレンズをのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



禁止

### 機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

### ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触れるとけがの原因となります。



禁止

### 長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

### 長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



禁止

### 持ち運ぶときは、アンテナをまとめ、電源プラグをコンセントから抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

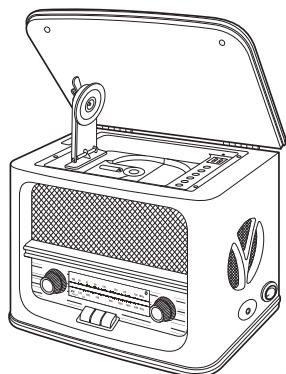


禁止

### 通風孔をふさがない

- 壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- あお向け・横倒し・逆さまにしない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



クラス1レーザー製品



指示を守る

### 音量に注意

- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

## ⚠ 注意



プラグを  
抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



指示を守る

結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機やディスクのピックアップレンズなどに結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時は電源プラグを抜き、CDを取り出して、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。

### 免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

# ● 本機の特長

## ● 機能の簡単切り替え

大きな機能切り替えボタンにより、機能をFMラジオ、AMラジオ、CDプレーヤと簡単に切り替えることができます。

※機能を切り替えても、電源を入れ直すと、最初はFMラジオになります。

## ● 天然木を使用

天然木を使用しているので、インテリアだけとしてではなく、音に重厚感ができます。

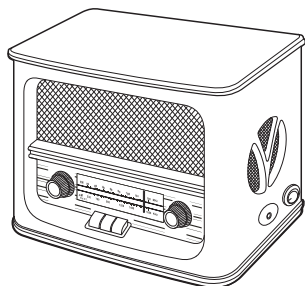
## ● ワイドFM (FM補完放送) 対応

AM放送の内容をFM放送用の周波数を用いて送信するワイドFM (FM補完放送) が受信可能です。

※近くにパソコンなどがあると音声にノイズが入ることがあります。

# ● 梱包品

ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お問い合わせになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。

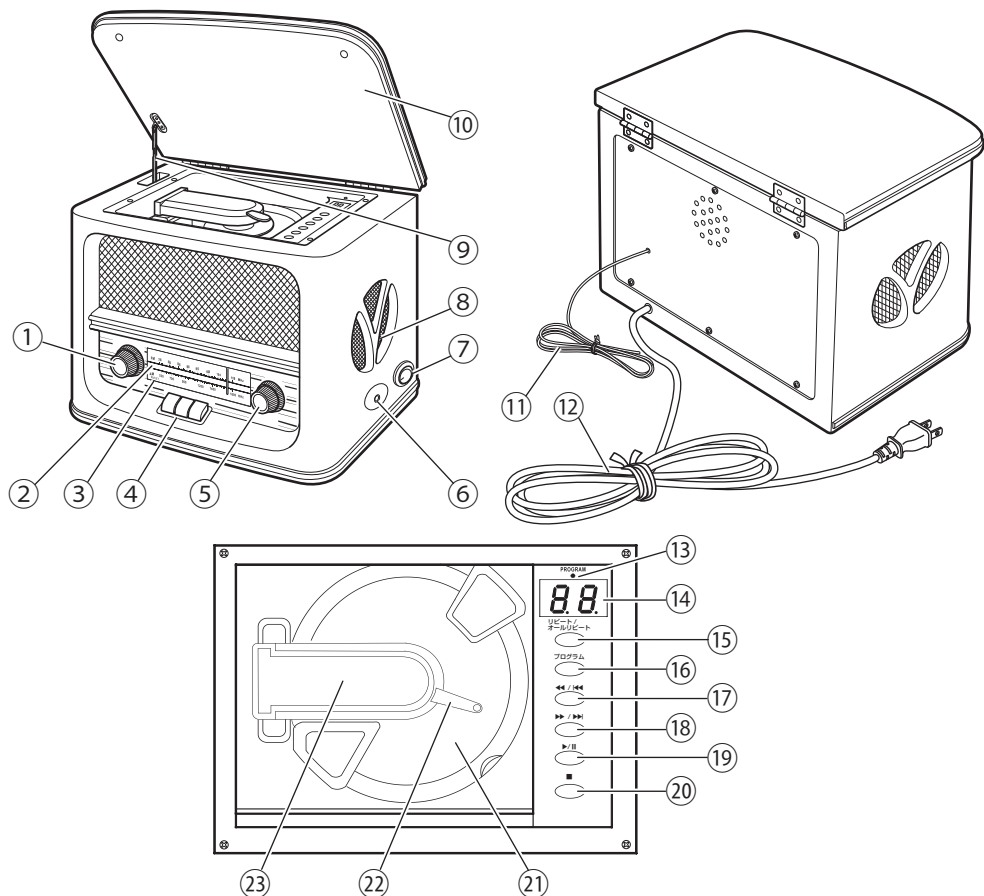


クラシックCD ラジオYCD-510(本機)



保証書付き取扱説明書(本書)

# 各部の名前



## ① 音量ツマミ

スピーカーの音量を調整します。

## ② 周波数表示部

この表示部の目盛りを受信したい局の周波数に合わせます。

## ③ FMステレオ表示

FM局のステレオ放送を受信した時に点灯します。

## ④ 機能切り替えボタン

このボタンを押して、FM局、AM局またはCDプレーヤの機能を切り替えます。切り替えられている機能のボタンが点灯します。

## ⑤ 選局ツマミ

このツマミを回して受信したい局の周波数に合わせます。

## ⑥ AUX (外部入力) 端子

テレビの音声出力端子やスマートフォンのイヤホン端子などを接続すると、本機のスピーカーから接続した機器の音声が出力されます。

※ この端子にプラグが接続されると、自動的に外部入力に切り替わります。プラグが抜かれると、選択されていた元の機器再生に戻ります。

※ Φ3.5mm ステレオ端子接続ケーブルは付属していません。

## ⑦ 電源スイッチ

このスイッチを押して、本機の電源の入りと切りを切り替えます。

## ⑧ スピーカー

ここから、音声が出力されます。

## ⑨ ストッパー

天板を開くとロックがかかり、天板が固定されます。

## ⑩ 天板

CD プレーヤを操作する時に開きます。

## ⑪ FM アンテナ

FM 放送を受信時には、伸ばして使用してください。

## ⑫ 電源ケーブル

このケーブルのプラグを交流 (AC) 100V のコンセントに差し込みます。

## ⑬ プログラムインジケータ

CD のプログラム動作時に点灯します。

## ⑭ CD 情報表示

CD の曲 (トラック) 番号や再生の状態を表示します。

## ⑮ リピート/オールリピートボタン

1 曲または全曲を繰り返し再生します。

## ⑯ プログラムボタン

曲の再生をプログラムします。

## ⑰ ◀◀/◀ (早戻し/後スキップ) ボタン

前の曲に移動します。

長く押し続けると、再生中の曲の早戻しになります。

## ⑱ ▶▶/▶ (早送り/前スキップ) ボタン

次の曲に移動します。

長く押し続けると、再生中の曲の早送りになります。

## ⑲ ▶/|| (再生/一時停止) ボタン

曲の再生と一時停止を切り替えます。

## ⑳ ■ (停止) ボタン

曲の再生を停止します。

## ㉑ CD 挿入部

CD を正しく挿入します。

## ㉒ CD 押さえアームツマミ

CD の交換時に、このツマミを持って CD 押さえアームを持ち上げます。

## ㉓ CD 押さえアーム

CD 再生時には、このアームで CD を押さえます。



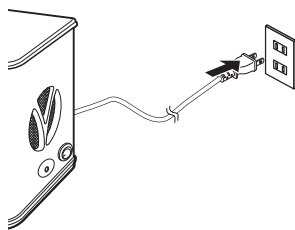
# ● 基本的な使い方

## ● 電源を入れる

1. 本機背面の電源ケーブルを交流100Vのコンセントに接続します。

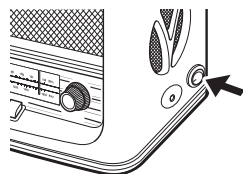


※ 濡れた手で電源ケーブルの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。



2. 電源スイッチのI側を押します。

- 機能切り替えボタンのFMと周波数表示部が点灯します。
- 電源を切る前にAMまたはCDに切り替えていても電源を入れ直すと、FMに切り替わります。

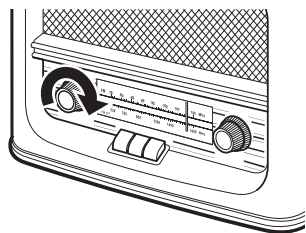


## ● 音量を調整する

1. 音量を上げるには、音量つまみを時計回りに回します。



※ 音量は徐々に上げてください。特に突然大きな音を出力した場合、スピーカーを傷めるおそれがあります。

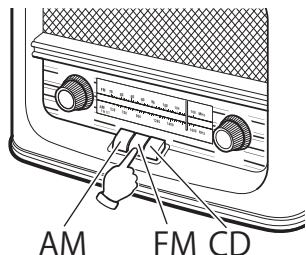


2. 音量を下げるには、音量つまみを反時計回りに回します。

## ● 機能を切り替える

1. 機能切り替えボタンを押して、FM放送、AM放送、CD再生を切り替えます。

- FM放送を聞くには、機能切り替えボタンのFMを押します。
- AM放送を聞くには、機能切り替えボタンのAMを押します。
- CDを聞くには、機能切り替えボタンのCDを押します。
- 電源を切る前にAMまたはCDに切り替えていても電源を入れ直すと、FMに切り替わります。



# ● CD取扱上のご注意

## ● 本製品で使用できるCDについて



マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

- コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保障はしかねます。
- CD-R/RWディスクについて。
- この商品は、CD-DAフォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み取りに時間がかかることがあります。誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクに傷をつけることがあります。
- MP3/WMA/WMVファイルを収録したディスクは再生できません。
- VCD (ビデオCD) は再生できません。

※ メディアの種類、録音時の設定 (書き込みスピードなど) によっては再生できないか、音質が著しく悪い場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 以下のCD、光ディスクは絶対に再生させないでください。

- DVD (音楽DVD含む)
- 音楽CDではないCD (データ記録用のものなど)
- 録音されていないCD-R/RW

※ 上記のものを再生すると大音量でスピーカーが破損、また、お聞きになった方の聴力に障害を及ぼす危険があります。

- 円形以外のCD、CD-R (ハート形、名刺形など)



※ 上記のものを再生すると回転時に遠心力が不均等に働き、本体を破損させるおそれがあります。

## ● CD取扱上の注意

再生面、レーベル面ともにシールを貼ったり、傷をつけないようにしてください。

### ■ 持ち方

再生面、レーベル面に触れないよう、図のように持ちます。



## ■ お手入れの方法

ディスクに指紋や汚れがついた場合は、やわらかい布で放射状に拭き取ります。レコードのように円状に拭かないでください。



※市販のCDクリーニングキットを使うとより効果的です。

鑑賞し終わったCDは本体に入れたままにせず、ケースに入れて保存してください。

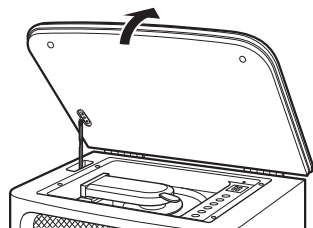
## ● CDを初めて使う前に

購入時にはCD挿入部にレンズ保護紙が取り付けられています。CDをセットする前に、必ずこのレンズ保護紙を外してからご使用ください。

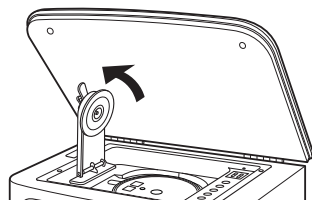
### 1. ストッパーのロックがかかり、天板が止まるまで、天板を開きます。



※ ストッパーのロックがかかり、天板が止まっていることをご確認ください。CDプレーヤ部の天板やストッパーに指や手を挟まないようにご注意ください。



### 2. CD押さえアームを持ち上げます。

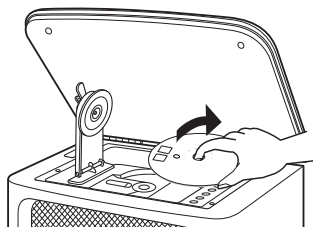


### 3. レンズ保護紙を取り外します。



※ レンズには触れないよう注意してください。

- CDを再生する場合は、12ページの「CDを再生する前の準備」以降をご覧ください。CDを再生してください。
- CDを再生しない場合は、16ページの「CDプレーヤの天板を閉める」をご覧ください。天板を閉じてください。



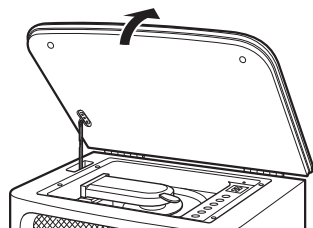
# ● CDの聞き方

## ● CDを再生する前の準備

1. ストッパーのロックがかかり、天板が止まるまで、天板を開きます。



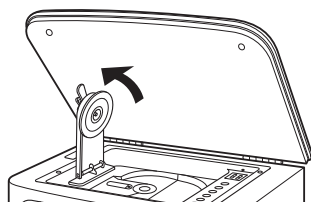
※ ストッパーのロックがかかり、天板が止まっていることをご確認ください。CDプレーヤ部の天板やストッパーに指や手を挟まないようにご注意ください。



2. CD押さえアームを持ち上げます。

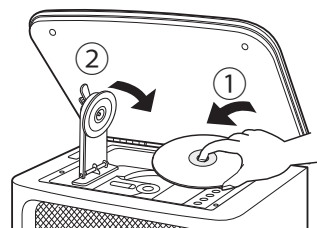


※ CD押さえアームを持ち上げたときに、CDのピックアップレンズを触ったり、傷付けしないでください。CDが再生されなくなることがあります。



3. CDを挿入し、CD押さえアームを閉じます。

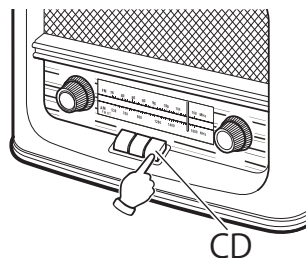
- CD押さえアームは、確実に閉じてください。CD押さえアームが確実に下がっていないとCDは再生されません。



## ● CDを再生する

1. 機能切り替えボタンのCDを押します。

- 機能をCDに切り替えていても、電源を入れ直すときFMに切り替わります。



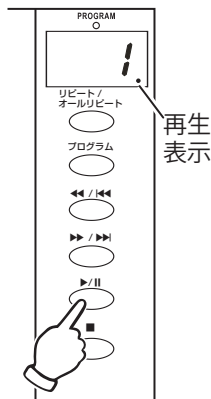
## 2. CDを再生するには、▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押します。

- 最初の曲から再生が始まり、再生中の曲番号が表示されます。
- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。

## 3. 再生を一時停止するには、再生中に▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押します。

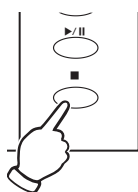
- 一時停止中は、再生表示が点滅します。

※ 再生中または一時停止中などCDが回転している間は、CDに触れたり、CD押さえアームを持ち上げないでください。ケガの原因になります。また、本機やCDの故障や破損の原因になります。



## 4. CDを停止するには、■ (停止) ボタンを押します。

- CDの回転が止まり、総曲数の表示に変わります。



## 5. 再生中の曲の始めに戻るには、◀◀/|◀◀ (後スキップ) ボタンを1回押します。

聞きたい前の曲に戻るには、◀◀/|◀◀ (後スキップ) ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。

- 停止または一時停止中に、◀◀/|◀◀ (後スキップ) ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めることもできます。
- ◀◀/|◀◀ (後スキップ) ボタンを押し続けると、連続して曲の変更ができます。

## 6. 早戻し再生するには、再生中に1秒以上◀◀/|◀◀ (後スキップ) ボタンを押し続けます。

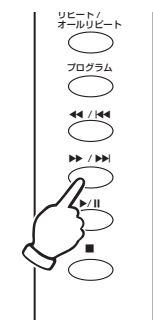
- 曲の初めまで、早戻し再生ができます。曲の初めまで戻ると、通常の再生に戻ります。

## 7. 聞きたい次の曲に進むには、▶▶/|▶▶ (前スキップ) ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。

- 停止または一時停止中に、▶▶/|▶▶ (前スキップ) ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めることもできます。
- ▶▶/|▶▶ (前スキップ) ボタンを押し続けると、連続して曲の変更ができます。

## 8. 早送り再生するには、再生中に1秒以上▶▶/|▶▶ (前スキップ) ボタンを押し続けます。

- ▶▶/|▶▶ (前スキップ) ボタンを押し続けると、曲を越えて、最後の曲まで早送り再生ができます。

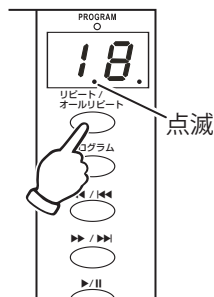


# ● CDを繰り返し再生する

## ● 1曲のみ繰り返し再生する(1リピート)

### 1. リピート/オールリピートボタンを1回押します。

- リピート表示が点滅します。
- 再生中は、再生している曲の1リピートになります。1リピートでは、曲の再生が終わると、曲の初めに戻り、再生を続けます。
- 停止または一時停止中は、◀◀/◀◀(後スキップ)または▶▶/▶▶(前スキップ)ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めると、選んだ曲で1リピートをおこないます。
- 1リピート中も一時停止または停止は可能です。■(停止)ボタンを1回押すと1リピートは保留され、2回押すと1リピートは解除されます。



### 2. 1リピートを解除するには、リピート/オールリピートボタンを2回押します。

- 1リピートが解除され、通常の再生に戻ります。(再生中でもリピート/オールリピートボタンを2回押すと1リピートは解除されます。)
- 1リピート中に1回リピートボタンを押すと、オールリピートになります。

## ● 全曲を繰り返し再生する(オールリピート)

### 1. リピート/オールリピートを2回押します。

- リピート表示が点灯します。
- 再生中は、再生しているアルバムのオールリピートが始まります。最後の曲の再生が終わると、アルバムの初めに戻り、再生を続けます。
- 停止または一時停止中は、◀◀/◀◀(後スキップ)または▶▶/▶▶(前スキップ)ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めると、選んだ曲でオールリピートが始まります。
- オールリピート中も一時停止または停止は可能です。■(停止)ボタンを1回押すとオールリピートは保留され、2回押すとオールリピートは解除されます。



### 2. オールリピートを解除するには、リピート/オールリピートを1回押します。

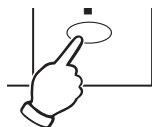
- オールリピートが解除され、通常の再生に戻ります。(再生中でもリピート/オールリピートボタンを1回押すとオールリピートは解除されます。)
- オールリピート中に2回リピートボタンを押すと、1リピートになります。

# ● CDの再生順を設定する(プログラム再生)

CDの曲をお好みの順番でプログラムして再生することができます。

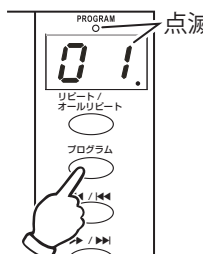
### 1. ■(停止)ボタンを押して、再生を停止します。

- 再生中は、プログラムを行うことはできません。必ず再生を停止してください。

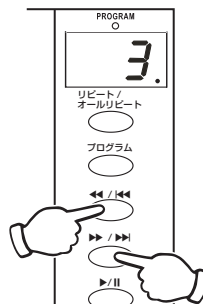


## 2. プログラムボタンを押します。

- 「01」が点滅表示され、プログラム表示も点滅します。
- この手順で約30秒間何も操作が無いと、プログラムは中止され、元の表示に戻ります。



## 3. ◀◀/▶▶ (後スキップ) または ▶▶/▶▶ (前スキップ) ボタンを押して、再生したい曲を選びます。



## 4. プログラムボタンを押します。

- 1曲目がプログラムされました。
- 「02」が表示されます。

## 5. 手順3.と4.を繰り返し、再生したい曲をプログラムします。

- 20曲までプログラムできます。



## 6. プログラム再生を始めるには、▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押します。

- プログラム再生中も、一時停止または停止は可能です。
- プログラム再生中に◀◀/▶▶(後スキップ)または▶▶/▶▶(前スキップ)ボタンを押すと、プログラムした曲の前または次に移動することができます。
- プログラム再生中に1リピートをおこなうと、再生中の曲の1リピートをおこないます。
- プログラム再生中にオールリピートをおこなうと、プログラムした曲でオールリピートをおこないます。
- プログラム再生中に停止し、プログラムボタンを押すと、01が表示され始めからプログラムをおこなうこととなります。プログラム再生中の曲の追加はできません。

## 7. プログラムを消去するには、■ (停止) ボタンを押して停止を行い、再度■ (停止) ボタンを押します。

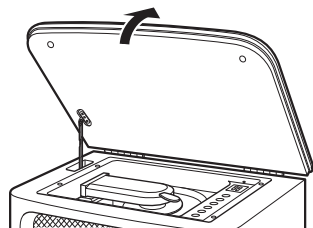
- 機能切り替えボタンのAMまたはFMを押して、機能を切り替えてもプログラムは消去されません。
- 電源を切るとプログラムは消去されますが、再生中に電源を切ると本機の故障の原因となることがあります。必ずCDが停止したのを確認してから電源を切ってください。

# ● CDプレーヤの天板を閉める

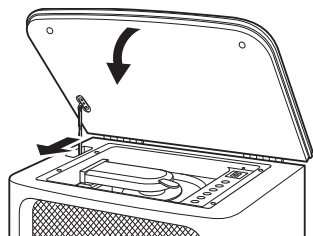
誤って再生中のCDに触れたり、異物の混入を防ぐため、CDの再生中は、CDプレーヤの天板を閉めることをお勧めします。

本機を移動する際には、CDを取り出して、天板を閉めてからおこなってください。

## 1. 天板を少し持ち上げます。



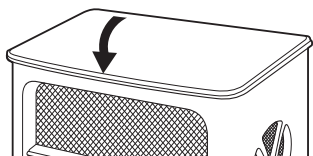
## 2. 天板をゆっくり閉じると同時に、ストッパーを手前に引き、ストッパーのロックを解除します。



	※ 天板やストッパーに指や手を挟まないようにご注意ください。	 ゆびのケガに注意
	※ ストッパーのロックがかかっている状態で、無理に天板を閉じようとししないでください。本機の破損やケガの原因になります。	

## 3. 天板を最後までゆっくり閉じます。

	※ 天板を急に閉めると、音飛びやCDを傷つける原因となることがあります。
--	--------------------------------------



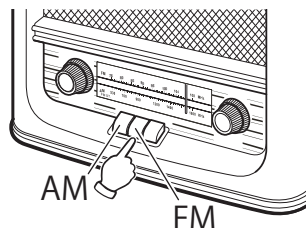


# ● ラジオの聞き方

本機はワイドFM (FM補完放送)に対応しています。ワイドFM (FM補完放送)とはAM (中波)放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の90.1 ~ 94.9MHz周波数を用いてAM放送をすることです。

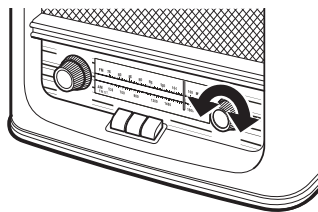
## 1. 機能切り替えボタンのFMまたはAMを押します。

- ワイドFM (FM補完放送)をお聞きになるときは、FMに切り替えてください。



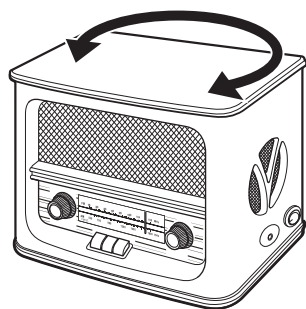
## 2. 選局つまみを回し、聞きたい局に合わせます。

- FM局のステレオ放送を受信すると、FMステレオ表示が点灯します。
- パソコンなどの電子機器が近くにあると、音声にノイズが入ったり、受信できないことがあります。パソコンなどの電子機器からは離してお使いください。



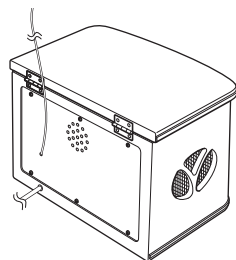
# ● アンテナを調整する

## 1. AM局を受信するには、AM局のアンテナは内蔵式ですので、本機の向きを変えます。



## 2. FM局を受信するには、本機背面のFMアンテナの位置を最も聞き取りやすくなる位置に設置します。

- FMアンテナはパソコンなどの電子機器からは、離して設置してください。



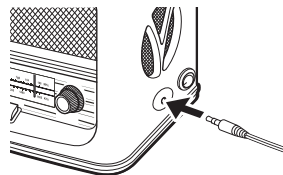
# ● AUX (外部入力) 端子の使い方

AUX (外部) 入力端子を使って、お持ちのテレビやスマートフォンの音声を本機のスピーカーで再生できます。

1.  $\phi 3.5\text{mm}$  のステレオケーブルを再生したい機器に接続します。

2. AUX (外部入力) 端子にケーブルのもう一方の端を接続します。

- ケーブルが接続されると、再生中の選択されている機能は以下になります。
  - ・AMまたはFMでは、受信中の音声は出なくなります。
  - ・CDはディスクの再生が停止します。
- ケーブルが外されると、接続前に選択されている機能は以下になります。
  - ・AMまたはFMでは、受信中の音声が出ます。
  - ・CDはディスク情報を読み取り停止します。



※  $\phi 3.5\text{mm}$  ステレオケーブルは付属していません。市販の接続ケーブルをお買い求めください。

3. 接続した機器の再生をおこないます。

- 本機のスピーカーから接続した機器の音声が再生されます。

## ● お手入れ



- ※ お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ 電源プラグは絶対に水に浸けないでください。

### ● 本体のお手入れ

- 本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。
- ※ メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
- ※ みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

### ● 電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- ※ みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

# ● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。

それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。	●電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
表示が出ない。	●電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
音声が聞こえない。	●音量は適切に調整されていますか。音量を調整してください。 ●受信周波数は合っていますか。また、AM/FMは正しく選択されていますか。選局つまみを回してお聴きになりたい放送局に周波数を合わせてください。
音声が突然聞こえなくなる。	●AUX（外部入力）端子にケーブルを接続しませんでしたか。ケーブルが接続されるとAMまたはFMの受信中の音声は出なくなり、CDは再生を停止します。AUX（外部入力）端子からケーブルを抜くとAMまたはFMの受信中の音声が出ます。CDはディスク情報を読み取り停止します。
天板が閉じられません。	●天板を開けるとストッパーのロックがかかるようになっています。天板を一度持ち上げた後に、天板をゆっくり閉じると同時に、ストッパーを手前に引き、ストッパーのロックを解除してください。
CDが再生されない。CD再生の音が飛ぶ。CD再生の音質が悪い。	●CDが正しく装着されているかご確認ください。CDが汚れている場合は、クリーニングするか、別のCDで試してみてください。 ●レンズが汚れている場合は、クリーニングしてみてください。 ●一時停止状態になっていないかご確認ください。
OPと表示され、CDが再生されない。	●CD押さえアームが正しく閉じられていないと、OPと表示され、CDは再生されません。CD押さえアームを正しく閉じてください。
ラジオの音質が悪い。	●近くにパソコンなどの電子機器はありませんか。電子機器の影響でラジオの音質が悪くなる場合があります。 ●アンテナの向きは正しいですか。AM放送用のアンテナは内蔵されていますので、AM放送をお聞きの場合は、本機の向きを変えてください。FM放送をお聞きの場合は、本機背面のFMアンテナの位置を変えてください。

# 仕様

定 格 電 圧	AC 100 V
定 格 周 波 数	50/60 Hz
消 費 電 力	16 W
外 形 寸 法	約310(幅)×210(奥行)×210(高さ) mm
質 量	約3.75kg
付 属 品	取扱説明書(保証書付き:本書)
アンプ部 実 用 最 大 出 力	2.0W+2.0W:総合4W
CD部 再 生 可 能 デ ィ ス ク	音楽CD、CD-R、CD-RW(CD-DAフォーマットで記録されたディスク) ※MP3/WMA/WMVなどの圧縮されたファイルは再生できません。
チ ュ ー ナ ー 部	FM 76.0～108MHz / AM 530～1600kHz

※本機の外觀および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは対象外となります。

# ● 保証とアフターサービス

## ● 保証について

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証書欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。詳細は保証書をご覧ください。

## ● 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店かキュリオムサポートセンターにご相談ください。

## ● 保証期間中は

- お買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理致します。保証期間中であっても有料となる場合がございます。

## ● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店へご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ● アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

※ナビダイヤルは一部の電話でご利用になれない場合がございます。

● キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間


月～金 午前10時～午後5時30分  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせ

E-mail: support@qriom.com  
ホームページ: http://www.qriom.com

## ● 個人情報の取扱いについて

- 株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを受託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

<b>愛情点検</b> 	長年ご使用の機器の点検を!	
	このような症状はありませんか? <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コード、プラグが異常に熱い。</li><li>● 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。</li><li>● 焦げくさい臭いがする。</li><li>● 本体がいつもより異常に熱い。</li><li>● その他異常や故障がある。</li></ul>	故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

※本機を廃棄される場合は、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。



